

第二回専門研修報告

「合唱における音楽表現の創意工夫」講師：山崎朋子先生（調布市立第七中学校）

平成25年7月11日（木）調布市立第七中学校音楽室にて

「大切なもの」「変わらないもの」など、合唱曲の作曲家としても大活躍されている山崎朋子先生を講師にお迎えし、第2回専門研修を開催しました。5時間目の2年生のクラスの授業を見学から始まり、合唱指導に関する内容や、山崎先生が作られた合唱曲の指導のポイントを直接質問して答えていただく、充実した研修会となりました。



とにかく元気でよく声が出る男子と、それを見守る大人な女子達です。発声練習に続いて「大切なもの」と「あなたへ」を合唱し、先生との対話によって「声部の役割」を確認しながら「全体の響き」をクラス全員で作っていくという前半の授業内容でした。情熱の

中にも冷静さとポイントがあり、「あなたへ」を歌いたい！指揮をやりたい！と積極的に生徒が発言し、前に出てくる姿が印象的でした。

授業の後半は山崎先生作曲の「あさがお」の楽譜が配布され、初めての曲をどのように指導するのか、という大変興味深い内容となりました。この後の研修でもお話されていましたが、ポイントは次の通りです。

1. 歌詞の内容を全員で確認する。この曲が作られた背景を知る。
2. 全員で主旋律の確認をして歌う。
3. 主旋律確認後、サビの前後から少しずつアルトや男声の旋律を確認する。
4. 基本は主旋律で、練習したところは合唱する。



この曲が作られた背景は作曲された山崎先生ならではの！という内容でした。さらに先生が主旋律を弾き歌いされた瞬間、生徒を含めた会場中の誰もが集中して聴き、この曲を好きになりました。山崎先生は作曲する際、**アルトと男声のハーモニーには大変こだわって作曲している**とのことで、この授業でもアルトパートと男声パートの生徒を励まししながら、パートの重要性を説かれていました。



授業後は「あさがお」を山崎先生のご指導と伴奏で合唱し、「声を出すことに自信がない生徒との関わり方」など先生の体験を交えてお話いただきました。

今回の研修は約70名の参加がありましたが、中には都中音研ホームページで研修を知り、申し込みされた山梨の先生や私立高校の先生もいらっしゃいました。ぜひ都中音研ホームページもご活用ください。

次回は夏休みに行われる「創作」と「長唄」研修となります。

（品川区立八潮学園 高道 有美子）